

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月 29日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 6番 吉里 浩恵

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1) 発 言 事 項	若者の定住率を上げるための教育事業について
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
高島市では、若者の市外流出と人口減少が深刻な課題となっており、特に進学や就職を機に市外へ移住した若者が定住先として高島市を選ばない傾向が続いています。今後の地域の持続可能性を見据えると、若者が高島で学び、将来を描き、定住するための教育環境と支援体制の整備が不可欠です。 教育と地域・産業との連携を強化し、若者の定住率向上につながる仕組みについて、以下の観点からお伺いします。 1. 市内の教育環境と若者の進路動向について (1) 市内中高生の進学・就職に関する実態と、市としての分析結果はどうか。	

- (2) 地元高校や大学・専門学校との連携状況と、定住促進につながる取り組みはあるか。

2. 若者の定住を促す教育的アプローチについて

- (1) 地元企業や農業・観光業と連携したキャリア教育や職業体験の取り組みの現状と課題はどうか。
- (2) 「ふるさと教育」や地域理解を深める学習活動の実施状況と今後の展望についてはどうか。
- (3) 若者の地域活動・起業支援に資する教育プログラムの整備状況はどうか。

3. 地元企業との連携制度の構築について

- (1) 地元企業と学校が連携して実施するインターンシップ・職場体験・企業見学の制度化は進んでいるか。
- (2) 市が仲介・支援する「地域産業×教育」のマッチングの仕組みづくりの現状と展望は。
- (3) 将来的に就職・定住へつながる「高島型デュアル教育（教育と実務の融合）」の可能性について。

4. 奨学金制度によるアプローチについて

- (1) 将来的な U ターン・定住促進を目的とした市独自の奨学金制度の現状と課題は。
- (2) 給付型・返済免除型などの奨学金制度の導入・拡充の検討状況について。
- (3) 奨学金の給付と地域貢献（インターン・地域活動等）を連動させる仕組みは検討されているか。

5. 今後の教育施策の方向性について

- (1) 若者が「高島で学び、高島で暮らす」未来を描ける教育環境づくりについて、市の基本的な考えは。
- (2) 小中高一貫して「地域とつながる学び」を育むカリキュラムの導入の可能性はあるか。
- (3) 教育委員会・地域住民・企業・保護者等が連携した教育コミュニティ形成の取組はどうか。

以上、教育と地域資源・地元企業との連携による包括的な支援体制を通じて、若者の定住率向上を目指す観点から質問いたします。